

評価

A：目的・意図が達成され、大きな成果が得られた。
B：目的・意図がある程度達成され、一定の成果が得られた。
C：実施したが、あまり目的・意図が達成されず、成果が小さかった。
D：未着手・未実施

今後の方針

- ◆完了…目的・意図が達成できたので完了
- ◆充実…さらに充実させて継続（実施内容を上乗せ、拡充して継続）
- ◆継続…概ね現行どおりに継続
- ◆改善…内容を大幅に改良して継続（実施方法等を大幅に見直し）
- ◆縮小…縮小して継続
- ◆統合…他の取組に内包
- ◆廃止…効果が得られそうにないため廃止

基本方針1：3Rに対する理解を深める（3Rに関する教育・啓発・協働）

現行計画における掲載内容				取組状況 (令和4年度～令和7年度)	評価	課題、今後の方向性	今後の 方針
区分	市民	事業者	行政				
教育	★ 積極的にごみ減量に関する情報にふれ、意識を高めるよう努めます	★ 事業系一般廃棄物と産業廃棄物の区分を守り、適正排出についての理解を深めるように努めます	★ 市民・事業者に対して、ごみ排出量・処理状況をはじめ、3R活動につながる情報を発信します	●毎年度：啓発チラシを作成し、3R活動地域推進員を通して地域での回覧及び掲示を実施した。 ●R4・R5：東海市なびにより定期的に通知した。 ●R5～：チラシや冊子を作成する際に市ホームページのごみ分別検索の二次元バーコードを掲載した。 ●R6：市公式LINEにより月1回、情報を発信した。 ●R7：事業者向けの事業系ごみガイドブックを新規作成し、市ホームページに掲載した。商工会議所の会報誌で事業者向けの事業系ごみガイドブックに関する記事を掲載した。	B	●チラシについては、多くのコミュニティにおいて回覧や掲示板への掲載による利用があったものであり、今後も年度ごとに題材を変え、継続する。 ●今まで以上に市民、地域・団体、事業者、市が協働して3Rを推進していくためには、あらゆる方に対するごみの排出方法・マナー等に関する分かりやすく、効果的な普及啓発に努める必要があるため、市が有する多様な情報発信メディアの特性に応じた普及啓発及び市民、地域・団体、事業者の需要に即した情報提供を行い、また、今後も冊子「ごみと資源の出し方」や「市公式LINE」、ごみ指定袋の取扱いに関する説明動画、多言語版チラシ等の活用、市ホームページや「市公式LINE」におけるごみ分別の検索機能など気軽にごみ分別に取り組める環境づくりを推進する。	充実
	市、事業者などが開催するごみに関する	自社で実施している3Rの取り組み紹介やご	ごみの適正排出・処分やごみ減量に繋がるよう	●R4：東海市エコスクール関連講座「サステイナブル☆キッズフェスタ2022」及び「3Rで住まいを整える～	B	●お片付けセミナーでは、毎年内容を変えながら、家の片付けと3Rを関連させて講義を行っており、	継続

現行計画における掲載内容				取組状況 (令和4年度～令和7年度)	評価	課題、今後の方向性	今後の 方針
区分	市民	事業者	行政				
	様々な学習会、講演会 などへの参加に努め ます	み減量に繋がるイベン トなどの開催に努めま す	な学習会・イベントを開 催し、市民や事業者の意 識高揚を図ります	エコで得する！お片付けセミナー～【実践編】」を開催した。 ●R5：東海市エコスクール関連講座「サステイナブル☆キッズフェスタ2023」及び「リデュースでモノを増やさない！～3Rで創る快適な暮らし～」を開催した。 ●R6：東海市エコスクール関連講座「サステイナブル☆キッズフェスタ2024」及び「ゆずってリユース！～初めてのフリマアプリ活用術～」を開催した。「東海秋まつり2024消費 者広場」及び「市民交流プラザまつり」において、不要となった古書及び文房具を回収し、市内の福祉事業者などに寄付した。 ●R7：東海市エコスクール関連講座「サステイナブル☆キッズフェスタ2025」及び「ラクしてすっきり！実家のお片付け～3Rで生前整理・住まい再構築～」を開催した。「東海秋まつり2025消費 者広場」及び「市民交流プラザまつり」において、不要となった古書及び文房具を回収し、市内の福祉事業者などに寄付した。 ●R4・R5・R6：市内小学4年生の社会科学習の一環として清掃センター工場棟、リサイクルセンターの施設見学を実施した。令和6年度（2024年度）からは、西知多クリーンセンターで施設見学の受入れを実施した。		毎年定員になるぐらい好評であり、令和7年度（2025年度）に実施した参加者アンケートでは、「今後役に立つと思うか」に対し、「そう思う」「ややそう思う」が100%であったため、<u>今後も継続する。</u> ●<u>サステイナブル☆キッズフェスタは、小学生が紙パック等で楽しく工作しながら3Rについて学べる場であり、小学生のリサイクルセンターの社会科見学は、令和7年度（2025年度）は0件だったが、本市として子どもに伝えたい施策を紹介する貴重な場であるため、双方において今後も継続する。</u> ●<u>今まで以上に市民、地域・団体、事業者、市が協働して3Rを推進していくためには、環境イベント等の実施により日常生活において気軽に取り組みやすく、継続しやすい内容の取組への理解促進に努める必要があるため、3R活動講座等の実施（東海市エコスクールの関連講座である3R活動講座の実施・リサイクルセンター及び西知多クリーンセンターにおける社会科見学の実施・市と民間事業者の協働）による環境教育・環境学習を推進する。</u>	

現行計画における掲載内容				取組状況 (令和4年度～令和7年度)	評価	課題、今後の方向性	今後の 方針
区分	市民	事業者	行政				
啓発	★ スマートフォン用生活情報アプリ「東海なび」の利用に努めます	—	★ スマートフォン所有率の高い若い年代層等のごみへの関心が高まるよう「東海なび」を活用するなど普及啓発等の機会を増やします	●H28.10～R6.6: ごみ分別アプリ「東海なび」を活用した。 ●R4: 東海市エコスクール関連講座「3Rで住まいを整える～エコで得する! お片付けセミナー——【実践編】」においてアプリのダウンロードを促した。広報により普及啓発を行った。 ●R5: 広報及び市ホームページにより普及啓発を行った。 ●R6.7～: 「東海なびの活用」に代わる取組として「市公式LINEの活用」を開始した。 ●R6: イベントを通して市公式LINEアカウントの登録を促した。 ●R7: イベント、チラシ、冊子等を通して市公式LINEアカウントの登録を促した。	B	「市民・事業者に対して、ごみ排出量・処理状況をはじめ、3R活動につながる情報を発信します」に統合	統合
	自らが得た知識を家族や知り合いなどと情報共有し、市民同士で啓発に努めます	事業所内で従業員に対して3Rに関する啓発に努めます	—	—	—	—	—
協働	市や事業者が行う3Rの取り組みに積極的な協力・参加をすることに努めます	市民や市が行う3Rの取り組みに積極的な協力・参加をすることに努めます	市民・事業者などが連携して本計画を推進できるようにします	●3Rに関する教育・啓発により実施したもの。	A	「市民・事業者に対して、ごみ排出量・処理状況をはじめ、3R活動につながる情報を発信します」に統合 ●今まで以上に市民、地域・団体、事業者、市が協働して3Rを推進していくためには、新たな計画の策定・公表に当たって、令和7年度(2025年度)に実施した第5次ごみ処理基本計画アンケート	統合

現行計画における掲載内容				取組状況 (令和4年度～令和7年度)	評価	課題、今後の方向性	今後の 方針
区分	市民	事業者	行政				
						ト調査の結果や3R推進協議会を通じて得た市民の意見が計画にどのように反映されているかをできる限り分かりやすく提示することにより、市民、地域・団体、事業者の理解を深め、各主体の協働のもと計画の推進を図る必要がある。	
			地域での3R活動推進を支援します	●毎年度：地域の町内会・自治会、子ども会などの資源集団回収実施団体が実施した資源集団回収に報償金を交付し、地域における資源集団回収を支援した。クリーンサンデー、地域環境美化活動、西知多産業道路沿道周辺の清掃活動等の実施において発生したごみについて回収した。啓発チラシを作成し、3R活動地域推進員を通して地域での回覧及び掲示を実施した。(再掲) ●R6～：町内会・自治会やコミュニティで発生したごみについて西知多クリーンセンターに持込みをする際のごみ処理手数料を減免とし、資源物については東海市内の資源回収場所への持込みを可とした。	B	●チラシについては、多くのコミュニティにおいて回覧や掲示板への掲載による利用があったものであり、今後も年度ごとに題材を変え、継続する。(再掲) ●地域における安定的な資源分別収集を推進するために、現行の資源集団回収の実施体制を検討する必要がある。	継続

基本方針２：ごみにしないように行動する（ごみ減量）

現行計画における掲載内容				D. 取組状況 (令和４年度～令和７年度)	評価	E. 課題、今後の方向性	今後の方針
A：区分	B：市民（参考）	C：事業者（参考）	C：行政				
発生抑制	★ 飲食店を利用するときは、３０１０(さんまるいちまる)運動を参考にした取り組みに努めます	★ 飲食店では、お客様が３０１０運動を参考にした取り組みを実施しやすいような配慮に努めます ★ 利用者として飲食店を利用するときに、３０１０運動を参考にした取り組みに努めます	★ ３０１０運動を参考にした取り組みの推進を啓発します	●R4：社会情勢に沿わないため、啓発を実施しなかった。 ●R5：広報及び市ホームページにより普及啓発を行った。商工会議所の会報誌で３０１０運動に関する記事を掲載した。 ●R6：市公式LINEにより啓発を行った。商工会議所に３０１０運動に関する記事の掲載を依頼した。 ●R7：実施なし。	C	「フードドライブなどに取り組む団体と協力し、食品ロスを削減する活動を促進します」に統合 ●３０１０運動は、食べ切りの具体的な措置として食品ロス削減推進計画の推進を通じて啓発する。	統合
	★ 飲食店では、食べられる分だけ注文し、料理を残さず食べるように努めます 飲食店で料理が残ったとき、季節等状況に応じて可能であれば持ち帰りに努めます ★ ３きり運動（使いきり、食べきり、水きり）に努めます	★ 飲食店では、食べきれ量のメニューの導入に努めます	★ ３きり運動（使いきり、食べきり、水きり）を啓発します	●R4：啓発チラシを作成し、東海市３Ｒ活動地域推進員を通して地域に普及啓発を実施した。（再掲）賞味期限と消費期限の違い等の記事を広報に掲載した。市内保育園にて食品ロス啓発紙芝居の読み聞かせを実施した。「サステナブル☆キッズフェスタ２０２２」及び「東海秋まつり２０２２消費者広場」においてフードドライブを実施した。（再掲）ごみ指定袋一斉配布時に啓発チラシを配布した。「東海秋まつり２０２２消費者広場」においてポスターを掲示し、及び来場者に水きりネットを配布した。東海なびにより画像を用いて実践方法を紹介した。 ●R5：啓発チラシを作成し、東海市３Ｒ活動地域推進員を通して地域に普及啓発を実施した。（再掲）広報のごみ特集のページの中で、賞味期限と消費期限の違いに関する記事を掲載し	B	「フードドライブなどに取り組む団体と協力し、食品ロスを削減する活動を促進します」に統合 ●使い切り・食べ切りについては、食品ロス削減推進計画の推進を通じて、広報、市公式LINE、市ホームページ「３Ｒとうかみ」による記事の掲載やイベント、講座等の機会の活用により、引き続き啓発に努める。 ●令和７年度（２０２５年度）に実施した第５次東海市ごみ処理基本計画アンケート調査の結果により市民のローリングストックの実施に対する興味関心が高いことが把握できたため、ローリングストックを正しく実施できるよう情報発信の強化に努める必要がある。 ●ごみの減量において、ごみ処理機等の活用は効果的であること	統合

現行計画における掲載内容				D. 取組状況 (令和4年度～令和7年度)	評価	E. 課題、今後の方向性	今後の方針
A : 区分	B : 市民（参考）	C : 事業者（参考）	C : 行政				
	★ 家では、使いきれの必要な分だけ買い、料理は残さず食べるよう努めます	★ 小売店では、お客様が使いきれの分だけ買えるようバラ売りなどの取り組みに努めます		た。市内保育園で食品ロス啓発紙芝居の読み聞かせを行った。「サステイナブル☆キッズフェスタ2023」及び「東海秋まつり2023消費者広場」においてフードドライブを実施した。（再掲）広報及び市ホームページにより普及啓発を行った。「東海秋まつり2023消費者広場」においてポスターを掲示し、及び来場者に水きりネットを配布した。 ●R6：啓発チラシを作成し、東海市3R活動地域推進員を通して地域に普及啓発を実施した。（再掲）10月の食品ロス削減月間に併せて食品ロス削減レシピを広報に掲載した。市内保育園で食品ロス啓発紙芝居の読み聞かせを行った。イベントの開催時に資料と合わせて「食品ロス事前チェックシート」を配布し、食品消費行動を見直すきっかけづくりを与える場とした。「サステイナブル☆キッズフェスタ2024」、「東海秋まつり2024消費者広場」及び「プラザまつり」においてフードドライブを実施した。（掲載）広報により普及啓発を行った。「東海秋まつり2024消費者広場」においてポスターを掲示し、及び来場者に水きりネットを配布した。 ●R7：実施なし		から、生ごみ処理機等購入費補助金の交付やキエーロの頒布など本市の生ごみの減量に向けた取組について、情報発信の強化に努める必要がある。	

現行計画における掲載内容				D. 取組状況 (令和4年度～令和7年度)	評価	E. 課題、今後の方向性	今後の方針
A : 区分	B : 市民 (参考)	C : 事業者 (参考)	C : 行政				
	★ 食べきれない食品を ごみにしないよう親 戚・友人に譲るように 努めます	—	★ フードドライブなどに 取り組む団体と協力し、 食品ロスを削減する活 動を促進します	●毎年度：市内保育園で食品ロス啓発紙芝居の読み聞かせを行った。市における備蓄品について、ローリングストックを実施した。 ●R4：「サステイナブル☆キッズフェスタ2022」及び「東海秋まつり2022消費者広場」においてフードドライブを実施した。「東海秋まつり2022消費者広場」においてDVD（のん子ちゃんと学ぶ「食品ロス」のおはなし）を上映した。 ●R5：「サステイナブル☆キッズフェスタ2023」及び「東海秋まつり2023消費者広場」においてフードドライブを実施した。 ●R6：「サステイナブル☆キッズフェスタ2024」、「東海秋まつり2024消費者広場」及び「プラザまつり」においてフードドライブを実施した。 ●R7：「サステイナブル☆キッズフェスタ2025」、「東海秋まつり2025消費者広場」及び「プラザまつり」においてフードドライブを実施した。	B	●令和7年度（2025年度）に実施した第5次東海市ごみ処理基本計画アンケート調査の結果により市民のフードドライブへの参加に対する興味関心が高いことが把握できたため、NPO法人まち・ネット・みんなの広場と協働し、「サステイナブル★キッズフェスタ」や「消費者広場」、「プラザまつり」に併せて今後もフードドライブを実施する。この場合において、幅広い世代の方がフードドライブに参加できるよう情報発信の強化に努める必要がある。	充実
再使用	不用品はすぐに捨てずに、フリーマーケットやリサイクル情報を利用し、次の使い手にゆずるよう努めます	—	リサイクル情報（ゆずります・ください情報）の提供を積極的に発信します	●～R5：3R活動促進事業委託において実施したもの。 ●R6～：「リサイクル情報（ゆずります・ください情報）の提供」に代わる取組として、「ジモティーとの協定によるリユース活動」を開始した。	B	●近年、リユース市場の拡大による不要品を再使用する方が増加しているため、より多くの不要品の再使用を促進するためのリユースショップの活用を検討する必要がある。	充実
共通	ごみ減量のアイデアを生活の中で実施して、ごみ減量に努めます	小売店では、アイデア募集で提案されたアイデアを掲載し、多くの市民	市民から募集したごみ減量のアイデアを啓発します	●実施なし。平成29年度（2017年度）までにおいては、3R活動促進事業委託において実施したもの。	D	●令和7年度（2025年度）に実施した第5次東海市ごみ処理基本計画アンケート調査の結果、3R推進協議会を通じて得た市民	廃止

現行計画における掲載内容				D. 取組状況 (令和4年度～令和7年度)	評価	E. 課題、今後の方向性	今後の方針
A : 区分	B : 市民（参考）	C : 事業者（参考）	C : 行政				
	す	の目に留まるよう啓発に努めます				の意見や社会情勢を考慮し、施策を立案する。	
	—	—	市の各課等に3R活動リーダーを設置し、市が排出するごみを減量します	●実施なし。	D	●今まで以上に市民、地域・団体、事業者、市が協働して3Rを推進していくためには、本市が一事業者として自らごみの発生抑制や資源化に取り組むことにより、率先的な3R活動の推進を図る必要があるため、事業系ごみの資源化を推進し、及び季節ごとの消費の機会を捉えた取組を実施する。	改善

基本方針３：使える資源は再生利用する（資源化）

現行計画における掲載内容				D. 取組状況 (令和４年度～令和７年度)	評価	E. 課題、今後の方向性	今後の 方針
A：区分	B：市民（参考）	C：事業者（参考）	C：行政				
資源化	—	★ 事業活動で発生する古紙などの資源のリサイクルに努めます	★ 事業所がリサイクルを推進できるよう情報提供します	●毎年度：資源化業者等を紹介した。 ●R7：事業者向けの事業系ごみガイドブックを新規作成し、市ホームページに掲載した。商工会議所の会報誌で事業者向けの事業系ごみガイドブックに関する記事を掲載した。（再掲）	B	●今まで以上にごみの資源化を推進していくためには、事業者向けの事業系ごみガイドブックの普及に努め、資源物を扱う資源回収業者等の紹介を徹底することにより事業系ごみの資源化を促進する必要がある。	継続
	—	★ 飲食店や小売店では、不要となった食材や残った料理などのリサイクルに努めます	★ 飲食店や小売店などに食品リサイクルの情報を提供します	●R7：事業者向けの事業系ごみガイドブックを新規作成し、市ホームページに掲載した。商工会議所の会報誌で事業者向けの事業系ごみガイドブックに関する記事を掲載した。（再掲）	B	「事業所がリサイクルを推進できるよう情報提供します」に統合	統合
	資源の分別をしっかりと実行するよう努めます	店頭での積極的な資源回収に努めます	市民が資源を出せる機会の拡充を検討します	●毎年度：資源分別収集常設場での資源分別収集や公共施設、公園等での拠点回収を実施した。 ●R5～：プラスチック使用製品について、プラスチック資源としてごみ集積場所で回収するプラスチックの一括回収を開始した。 ●R6～：資源物を各家庭で用意した無色透明の袋で出せるようにした。 ●R7～：リサイクルセンター内に木材等の回収場所を設置し、回収した木材等をバイオマス燃料等に資源化した。市民の要望に応え、ダウンジャケットの資源化を開始した。資源分別収集常設場の開設時間を拡大した。	A	●今まで以上にごみの資源化を推進していくためには、令和７年度（２０２５年度）に実施したアンケート調査、３Ｒ推進協議会を通じて得た市民の意見や社会情勢を考慮し、市民の需要に即した資源回収品目の見直しを行うことにより家庭系ごみの資源化を促進する必要があるため、資源として出せる機会を拡充する。	充実

基本方針4：正しくごみを出し、正しくごみを処分する（適正排出・処分）

現行計画における掲載内容				D. 取組状況 (令和4年度～令和7年度)	評価	E. 課題、今後の方向性	今後の方針
A：区分	B：市民（参考）	C：事業者（参考）	C：行政				
適正排出・処分	★ ごみ・資源は正しく分別し、収集日や出し方を守るよう努めます スプレー缶やカセットボンベなどの発火性危険物を正しく安全に出すよう努めます ごみのポイ捨てをしないようにします ★ 3きり運動（使いきり、食べきり、水きり）に努めます（再掲）	★ 産業廃棄物を取り除き、事業系一般廃棄物を適正に排出します 古紙など資源化できるものの分別に努めます	★ 転入者を含め、市民に、ごみの出し方・マナーをわかりやすく伝えます ★ スマートフォンを持っている方に「東海なび」の利用促進を図り、正しいごみの出し方等の情報を手軽に得られるようにします 排出されたごみ・資源を適正に処分します ★ 3きり運動（使いきり、食べきり、水きり）を啓発します（再掲）	●毎年度：市内のごみ集積場所について、収集委託業者が衛生面を考慮し簡易清掃も兼ねたごみ収集を実施した。事業系一般廃棄物について問合せのあったものに対し、処理業者や資源化業者等の紹介を行った。 ●R4・R5：事業者の持込みごみを検査し、産業廃棄物混入の防止に努めた。 ●R4：「東海秋まつり2022消費者広場」において小型家電の回収方法の周知を行った。 ●R5：一般廃棄物収集運搬業許可業者の搬入ごみの展開検査を行い、排出者への適正排出を促した。「東海秋まつり2023消費者広場」において小型充電式電池の危険性及び排出方法の啓発を行った。 ●R6：「東海秋まつり2024消費者広場」において小型充電式電池の危険性及び排出方法の啓発を行った。 ●R7：「東海秋まつり2025消費者広場」において小型充電式電池の危険性及び排出方法の啓発を行った。事業者向けの事業系ごみガイドブックを新規作成し、市ホームページに掲載した。商工会議所の会報誌で事業者向けの事業系ごみガイドブックに関する記事を掲載した。（再掲） ●R6～：市公式LINEを使用し、市民への正しいごみの出し方の周知を促した。転入者に対し、ごみ指定袋制度とごみの出し方の説明動画を導入し、手続きの待ち時間や自宅で視聴できるようにした。	B	●あらゆる方に対するごみの排出方法・マナー等に関する分かりやすく、効果的な普及啓発に努める必要があるため、今後も冊子「ごみと資源の出し方」や「市公式LINE」、説明動画、多言語版チラシ等の活用、市ホームページや「市公式LINE」におけるごみ分別の検索機能など気軽にゴミ分別に取り組める環境づくりを推進する。（再掲） ●市内のごみ集積場所の収集委託業者が衛生面を考慮し、簡易清掃も兼ねたごみ収集を実施し、また、衛生員による市内パトロールを引き続き実施する。 ●今まで以上にごみの適正処理を推進していくためには、取扱いに注意を要するごみ（水銀使用廃製品、乾電池、スプレー缶、小型充電式電池、ライター等）の適正排出を普及啓発することにより家庭系ごみの適正排出を促進する必要があるため、取扱いに注意を要するごみの処理方法について市民に普及啓発を行う。 ●高齢化社会の進展に伴う家庭からの日々のごみ出し問題に対応できるよう、将来に渡り誰もが安心して生活できる収集・運搬体制を構築する必要があるため、移動困難者を対象とした収集・運搬体制の構築を検討する。 ●今まで以上にごみの適正処理を	継続

現行計画における掲載内容				D. 取組状況 (令和4年度～令和7年度)	評価	E. 課題、今後の方向性	今後の方針
A: 区分	B: 市民(参考)	C: 事業者(参考)	C: 行政				
				●R7～: 家庭で使用する電動式生ごみ処理機又は生ごみ処理容器を購入する者に補助金を交付した。市で作成した生ごみ処理機「キエーロ」を頒布した。多言語版ごみと資源の出し方のチラシを作成した。		推進していくためには、事業者向けの事業系ごみガイドブックの普及に努め、事業系一般廃棄物と産業廃棄物の分別区分や排出方法・ルールについて周知徹底することにより事業系ごみの適正排出を促進する必要がある。	
	ごみ集積場所の利用者が協力して、ごみ集積場所周辺の美化に努めます 清掃活動への積極的な参加に努めます	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	体温計・血圧計などの水銀使用製品の分別回収方法の周知に努めます	●毎年度: 冊子「ごみと資源の出し方」や市ホームページに掲載し、周知を促した。 ●R元～: 水銀使用廃製品の回収を開始した。(現在は資源分別収集常設場、しあわせ村、市民体育館の3箇所)	A	●水銀使用廃製品の適正な処理を促進するために分別回収を継続する。 ●今まで以上にごみの適正処理を推進していくためには、水銀使用廃製品の適正排出を普及啓発することにより家庭系ごみの適正排出を促進する必要があるため、水銀使用廃製品の処理方法について、引き続き、冊子「ごみと資源の出し方」や市ホームページ等に掲載し、市民に普及啓発を行う。(再掲)	継続
			万が一の災害に備え、災害廃棄物の処理が滞りなく進むよう、災害廃棄物処理計画の随時見直しを検討します	●毎年度: 災害廃棄物に関する研修を受講した。 ●R6: 東海市災害廃棄物処理計画を改定した。東海市災害廃棄物処理実行計画のひな型を作成した。オープンスペース候補地を選定した。簡易トイレの凝固剤不足分を購入した。	A	●万が一の災害に備え、災害廃棄物の処理が滞りなく進めるためには、実効性のある職員行動マニュアルの策定により職員一人一人のキャリアアップを図る必要があるため、災害廃棄物処理体制の強化として、災害発生時に担当職員が実施すべき行動を示した行	改善

現行計画における掲載内容				D. 取組状況 (令和4年度～令和7年度)	評価	E. 課題、今後の方向性	今後の方針
A: 区分	B: 市民(参考)	C: 事業者(参考)	C: 行政				
						動マニュアルや一次仮置場の設置・運用方法を示した運用マニュアルを策定する。また、公費解体に関する指針を整備する。	
			西知多クリーンセンターへの統合に向け、市民に混乱のないよう事務事業調整を行います	●本市、知多市、西知多医療厚生組合の三者で協議を行い、減免制度や搬入禁止物等の取扱いを調整し、市民に案内した。	A	●今後もごみの受入れや制度変更等で問題が生じた場合は、三者で協議し、市民に案内していく。	継続
			西知多クリーンセンターの稼働まで、現行のごみ処理施設の維持管理を行い、安全で安定的な処理を継続します	●東海市と知多市は、両市のごみ焼却施設等が耐用年数を迎えることから、効率的な施設運営による経費削減と、環境にやさしい循環型社会形成の一層の推進を図るため、西知多医療厚生組合と施設の統合に向けた協議を進め、令和6年度に西知多クリーンセンターが稼働した。 ●R5: 資源の処理体制等の決定及び推進に向けた調整や、現有施設の管理棟改修工事を行った。 ●R6: ごみ集積場所収集及び運搬の経過監理や、ごみピット内の残処理及び水処理設備の薬品タンク残処理等を行った。	A	●西知多クリーンセンターの稼働に併せて、ごみ収集体制を確立したことで、ごみが安全に収集され、ごみ処理施設が安定的に稼働したとともに、処理費等の削減が図られた。	完了